



LITERARY COSMOS

愛媛県立医療技術大学図書館報 第4号 2008.3.31

伊予郡砥部町高尾田 543 番地 (〒791-2101)

電話・FAX 089-960-0061

ホームページ <http://www.epu.ac.jp/tosyokan/>

.....図書委員会活動報告 2007.....

図書館運営について思うこと

図書館長 なかの しずこ
中野 静子

在学生はじめ教職員の皆様にとって、図書館はどのように位置づけられ活用されているのでしょうか。短期大学の開設時には図書館の設備、蔵書数などの整備状況は自慢できるものでしたが、20年経過した現在の大学図書館については、どのように感じられているのでしょうか。大学に移行後、二代目の図書館長としてその役割をお引き受けし運営に携わってきましたが、2年間の役割遂行のなかで感じたこと、また日頃思っていることを述べさせていただきます。

大学図書館の第一義の目的は、学生と教職員の教育研究のための資料の提供です。そのために必要資料の収集と環境の整備が、図書館職員ならびに図書委員の役割の主たるものになります。しかし、ただ資料を揃え、それを利用するだけの場所としての図書館では魅力がありません。図書館という物理的環境のなかに利用する人がうまく溶け込み、その空間には図書と人とがかもしだす温かい雰囲気や漂うような図書館はどうでしょうか。利用者にとって静粛のなかにも学習しやすい環境を整えたいと考え、運営に携わってきました。

最近の学生の活字離れや Web の利用による図書の利用低下が大学図書館の課題として取りざたされています。しかし、本学の学生に限ってみると、図書館利用者は昨年度に比較すると明らかに増加しており、貸出冊数も多くなっています。それゆえに、どのような情報が提供できるのか、ということが図書館に求められていると考えられます。限られた予算のなかで必要な情報収集をするためには、図書委員は常日頃から新刊図書はもちろん、様々な領域の図書への深い関心が求められています。もちろん

幅広い領域からの選書を考えると、すべての教職員や学生の協力なくしてはできないことです。

今年度新たに取り組んだ活動は、これまでほとんど変化のなかった展示ケースの有効活用、夏季休暇中に学生に読んで欲しい推薦図書の紹介コーナー、情報リテラシー教育として文献検索ガイダンスの実施と学生ボランティアの導入です。これらの活動はいずれも図書館が学生にとって身近な存在となることをねらったものですが、どの取り組みもその成果が見えるまでには至っていません。今後、さらに検討を深め、より充実したものが展開されることを期待しています。

公立大学図書館として地域開放という役割があります。学外者利用の現状は、県内の看護職者を中心に来館、貸出が多くなっています。一方、地域住民の方々の利用はほとんどなく、今後、健康に関する情報発信の場として、地域住民のニーズに基づいた整備が必要になってくると考えています。

最後に、開館時間の延長（現在 9:00～19:00）と土曜日または日曜日の開館についてです。以前の図書館報に学生が要望として書いていたこともあり、また幾人かの学生から要望として聞いています。開館時間は長ければ長いほど利用者は便利ですが、現状で何が問題なのかを十分に検討することも必要です。

我が国の大規模な大学図書館は、従来の図書館という概念を超えて、新しい情報収集・発信の場として変化をしています。本学図書館の未来についても真剣に議論する時期が来ているのではないかと思う今日この頃です。今後の発展を祈念しております。

展 示

今年度初めて、カウンター前のガラスケースを使って、図書委員の先生の企画による展示を行いました。それぞれの得意分野を生かしたバラエティに富んだ展示の概要を紹介します。

ミニ写真展（展示期間：5月10日～6月30日）

事務局学務課 いながき まさる 稲垣 優

事務局の稲垣学務課長が、趣味で撮っていらっしゃる写真を3点展示しました。だるま夕陽や一本桜は、長年にわたって撮影を続けておられるというテーマで、プロ顔負けのすばらしい作品は、好評を博しました。



病気と食べ物（展示期間：7月13日～9月30日）

臨床検査学科 えじま さかえ 江島 榮

食生活の欧米化によって、日本人の食生活が脂肪摂取過多に傾き、発生する疾患の傾向が従来と変わりつつあります。脂肪摂取過多によって、コレステロールを材料として、女性ホルモンの一種であるエストロゲンの増加により、女性に於ける乳癌の発生が激増しています。またコレステロールを材料として、男性ホルモンの一種であるテストステロンの増加により、男

性では前立腺癌が増加しています。両者とも性ホルモン依存性の悪性腫瘍であることは以前から証明されており、さらに脂肪摂取過多によって、大腸内においてメチルコラントレンという発癌性の物質が産生され、大腸癌の発生の成因になると言われています。

食事中的繊維成分摂取の減少が大腸がん発生の成因にもなっています。

あなたならどうする？救命処置が必要な場面に出会ったら！

(展示期間：10月1日～12月27日)

看護学科 おきな 沖中 ゆみ 由美・ひさし 久藤 かつこ 克子

最近、国内外を問わず、地震や津波などによる災害の情報を耳にすることが多くなりました。私たちの住む愛媛でも、南海沖地震が起ると予想されています。

突然の災害は、学内や日常の生活の中でも起こり得ることです。

本学のような医療職者を目指す看護学科・臨

床検査学科の学生や教職員は、病気や事故などで人が倒れたり意識がなかったりする場面に遭遇したとき、対応ができるようになっておきたいものです。そこで、一次救命処置の意識を高くもち、救急時の対応に活かすことができるように、一次救命処置について紹介するパネル展示を行いました。

**身の回りの危険物ー医療人として知っておきたい応急処置**

(展示期間：1月7日～3月18日)

臨床検査学科 ささき 佐々木 のぶたか 信敬

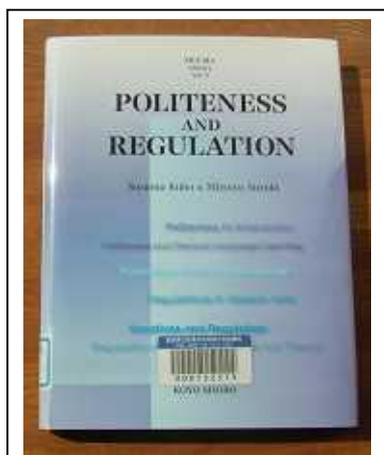
我々日本人は、世界一、二の多種、多様の危険物ー特に化学物質ーに囲まれて暮しています。病理学では病因を内因と外因に大別しますが、危険物は外因そのもので、生物学的、物理学的、及び化学的因子（栄養素を含む）に分けられます。ここでは電磁気及び放射線（物理学的因子）と動植物（生物学的因子）とを除いて、日常生活で遭遇し、曝露により急性中毒が生じる可能性のある 20 余りの化学的因子（工業用品、ガス及び薬物）を選び出し、曝露によ

る障害と応急処置に焦点を当てて概説し、併せて本学図書館所蔵の関連図書を紹介しました。

本展示は、医療人として知っておいて欲しい有害化学物質についての知識と、身につけてもらいたい応急処置の技術とを学ぶ一助となることを願って企画しました。展示の趣旨を理解され、医療現場のみならず、あらゆる救急現場で役立つ、また、家庭や地域で一般大衆の啓蒙という形で、予防医学に貢献できる医療人に育てられることを切望します。

自著を語る

看護学科 鈴木 光代



POLITENESS and REGULATION

久保進・鈴木光代著 晃洋書房 2007

(図書館請求記号 837.8 - KS)

しばらく前から言語理論をなんとか実践的なものに応用できないかという思いから、コミュニケーションにおけるポライトネスというものを考えるようになった。ポライトネスという英語を辞書で引くと「礼儀正しさ、丁寧さ、(他人への)思いやり」という訳がでているのは、中高生でも知っていると思う。形容詞形の polite の語源は、ラテン語の politus で polished (「磨かれた、洗練された、上品な」) を意味している。この poli で始まる英語でよく目にするのが、police, politics であるが、この poli はギリシャ語で 'city' を意味することから、「市政、政治」という意味合いがでてきたと考えられる。では、politics, police と politeness との間にはどんな関係があるのでしょうか。社会言語学者たちによると、17世紀、18世紀の西欧社会では、宮廷中心の政治が行われており、その政治は「洗練されていること (being polished)」がもっとも重要であったため、それが politeness というイデオロギーになっていったということである。ちなみに、ギリシャ語で「文明」を意味する politizmos も語源的に同じで、それは人間が社会生活の中で「洗練されてきた」進化の過程であると言われている。このようにポライトネスという言葉、語源的・歴史的に調べてみると、何がポライトであるかを考えていく上では、やはり、その時代の社会、文化の中での人々の生活、そしてその基盤をなす人と人との係わ

り合いを考慮する必要があることがわかる。これが研究の出発点だった。

本書の Part I では、まず理論言語学で提案されている主要なポライトネス理論を概観し、どの理論をどう利用したら実践的なコミュニケーションの柱になりえるかを論じている。そして、最終的には、convergence (話している相手に心理的に「収束する」と divergence (相手から心理的に「離れる」という概念が大切で、この両者の social equilibrium (様々な社会的要因を鑑みて成り立つ「均衡」) を基にして成り立つのが理想的な(「洗練された」)コミュニケーションという考え方にたどり着く。では、実際にどのようにそれが具現化されるかは様々な状況があるが、本書では、まず英語教育の場に生かすことも考えて、映画やドラマをデータとして観察してみている。なぜ、映画やドラマかかというと、それはこれらが、その時代の文化や社会の典型を反映しているからであり、そこで繰り広げられるコミュニケーションも、典型的な社会的要因や文化的要因などが絡み合っていると考えたからである。第2章では、特に、談話の流れの中でマイナーに思われがちではあるが、談話者の人間関係や心情を明確に表出している pragmatic device と呼ばれるものが効果的に使用されている例を観察・分析している。また、第3章では、特殊な状況ではあるが(本務校が医療技術大であるということもあって)、アメリカのテレビドラマから医療従事

者と患者（あるいは患者の家族など）の談話をとりあげている。確かにテレビドラマには、製作者の個人的な見解から生まれる特殊性もあるであろうが、そこで描かれる人間模様には、同じような経験や感情を持つ人々が共有しているものが類型化されているので、普遍的な人と人とのインタラクションも見られるのである。本書のPart II では、松山大学久保教授がRegulation「調整行為」の理論という独自の理論を展開し、発話行為の際に必ず随伴的に遂行される行為（発話媒介行為というもので、例え

ば、「大丈夫ですよ」という発話をする中で「人を安心させる」というような行為を指す）がどのような効果を生み出すかを、認知科学の見地から膨大なデータを基に分析している。もともと、言語理論が基にあるので、言語学の分野外の読者には、一見難しいと思われがちだが、データになっている会話を読むだけでも楽しく、英語の学習のみならず、コミュニケーションの術を知る上でも役だてていただけるのではないかと思う。

寄贈図書ご紹介

図書館では、蔵書の充実のためにさまざまな機関や個人の方から図書等の寄贈を受け付けています。今年度寄贈いただいたものの中からいくつかご紹介いたします。皆様是非ご利用ください。

◆大学・短期大学同窓会「木蓮会」より

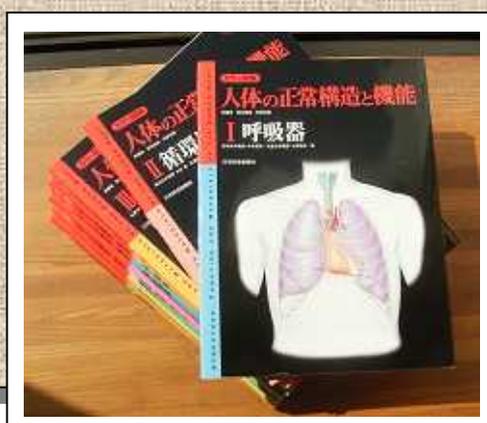
図書93冊 DVD3枚 コクランライブラリーCD-ROM1セットをいただきました。コクランライブラリーは館内の文献検索用パソコンにダウンロードしています。[寄贈資料の一覧](#)は図書館ホームページをご覧ください。

◆平成19年度卒業生の皆様より

『標準公衆衛生・社会医学』岡崎勲・豊嶋英明・小林廉毅編集 医学書院 2006年

『カラー図解人体の正常構造と機能 全10巻』坂井建雄・河原克雅総編集

日本医事新報社 1999～2005年



◆岡部喜代子学部長より

『新・病態生理できた内科学 全9巻』（医学教育出版社）ほか全21冊をいただきました。詳細は、図書館ホームページをご覧ください。

特集 卒業研究と図書館

看護学科4年 こやま ゆうた にしかわ なおや
 小山 祐太・西川 直也

この春で私たちは卒業です。私たちは学年が上がるにつれ図書館の利用の仕方が変わってきました。1年生のときは自分達の趣味の本、主に漫画「ブラックジャック」を読むことがとても楽しみでした。2年生では、講義も専門的になり、借りる図書も看護の専門的な本に変わってきました。そして実習が本格的に始まった3年生では、新しい実習場所、新しい患者さんを受け持つたびに、図書館で借りることができる限りいっぱいまで図書を借りるようになり、もう図書館なくして実習は成り立たないほどでした。

そんな私たちも一通り実習が終了して4年生になり、自分の興味を持つ分野について学びを深めていく卒業研究が始まりました。そこで教科書レベルよりもさらに専門的な知識を得るために、文献検索という新しい方法を教えてもらいました。そこで触れる先人たちの研究は、自分の興味を掘り下げるとも強い刺激

になりました。「自分と同じことを考える人がいるんだな。」と出会ったこともないのに親近感を覚えたり、「こんな角度から物事を考えるのか。」とハッとしたりと、文献は発見の連続でした。自分の研究のすべての段階においてそれらを参考にし、自分達の満足のいく研究ができたと思っています。

文献検索という、図書館の新しい活用法を知ったとき、図書館は本当に面白くて、奥が深いと感じました。自分が知りたいと思えばそれを知ることができる、これは素晴らしいことです。そのために探究心を持つことが、図書館を今よりもっと有効利用できるコツだと思います。私たちにとって、図書館は自分の知りたいことにフィットする、とても柔軟で懐の深い場所でした。これから看護の世界で働き、いつか自分達もこの図書館に収められるような研究論文を発表できたらすごいことだなと、二人で話しています。

臨床検査学科4年 たさか まい
 田坂 麻衣

国家試験も終わり、卒業を目前に控えている私にとって卒業研究は最後の難関である。ここでは卒業研究と文献検索の関わりについて、自分の体験を基に述べたいと思う。

研究を始めるためにはまずテーマを決めなければならないが、そのために文献は必要になってくる。いきなり研究テーマを決めるように言われても、何について、またどのように取り組めばいいのか正直見当がつかなかった。そこで、自分が興味のある分野についてキーワードで検索し、具体的にはどのような研究が行われているのか調べた。それらを参考にしある程度研究内容が定まってきたら、さらに関係のありそうな論文を検索し、近年どのくらい注目されているか、その方向性が間違っていないかなどを確認した上で、最終的に研究テーマを決めるべきである。

更に研究を進めていく中で、どうしてこのような結果になったのか、それを考える根拠としても文献は非常に参考になる。卒業論文では、考察を自分の「意見

としてまとめ上げなければならない。しかし意見を述べるためにはその根拠が必要で、更にその信憑性も求められる。自分の中だけで捻出した考察ではどうしても説得力に欠けてしまう。そこで他者の文献による証明、確かな裏づけが必要になってくる。

このように、主に研究テーマの決定と結果の考察において文献は重要である。論文の内容は学生には高度なものも多く、とっつきにくいという印象をもっている人も多いと思う。よって最初は医学中央雑誌などの検索システムで、英文ではなく日本語の抄録をじっくり読んで自分にあったものを選ぶことをお勧めする。なお医中誌にはオンラインジャーナルにリンクされた論文もあり、ダウンロードすればその場で全文載った文献を入手することが出来る。もし時間に余裕が無い場合は非常に便利である。多くの文献を検索する事で結果として、自分の知識の幅も深まったように思う。卒業研究を通して、ぜひ積極的に文献に触れてもらえればと思う。

My Favorite Book**恋する日曜日 私。恋した**

渡辺千穂 著

泰文堂 2007年

看護学科3年 神崎 佑太

僕が薦める本『恋する日曜日 私。恋した』は自身、友達に薦められ読んだ本です。普段はあまり恋愛系の本というのは読まないのですが、この本は読み始めるとどんどんその世界に引き込まれていきました。ちょっと見てみるつもりで読み始めましたが結局一気に最後まで読みきりました。

この話は 80~90 年代の隠れた名曲をテーマにした人気ドラマシリーズの劇場版で、死期の迫った女子高生の小さな旅を描き、静かで、儂く、それだけに涙してしまう作品です。

母親の死、そして自分も余命3ヶ月と宣告された女子高生、なぎさの思い出の地への旅と幼馴染の聡との再会を描いたもので『死』と『恋』という二つの秘密を抱える複雑な心が繊細に表現されています。幼いころからの聡への恋心があったなぎさが久しぶりに聡と再会し、子供のころを懐かしみながら大人になっている自分にも気付くという子供から大人への転換もあり、読みながら自分と照らし合わせてみたりしていろいろと考えさせられました。また他にも登場人物が出てきますがそれぞれの思いが交錯し合い、誰も間違っていないのに錯綜していくやるせなさも強く感じました。この本を読んで人っていうのはこんなにも弱く、そして強くなれるということを教えられました。

この作品は今夏ロードショーされる映画『恋する日曜日 私。恋した』の脚本をもとにして書き下ろされたものだそうです。設定は、突然自分が病気とわかった女の子の最後の旅と少し重いイメージになりがちですが、表現や情景が明るいためその重さを感じさせず、読んだ後さわやかな気持ちになれました。表現もあっさりとしていて文章の量も少ないので時間がない方でも読みやすいと思います。映画が上映される前に一度読んでみてはいかがでしょうか。

陰日向に咲く

劇団ひとり 著

幻冬舎 2006年

臨床検査学科2年 清原 美沙紀

この本は、人気芸人の劇団ひとりさんが書いた本で、最近映画化もされて有名である。最近読書に疎遠であったが、話題の本だったので内容が気になり、読むことにした。

この本は、堅苦しい内容ではなく、笑いもあり、読んでいて楽しかった。しかし楽しいだけでなく、涙も二度流した。この本は4つの物語から成っている。短編物なんだと少しガッカリしていたがそうではなかった。確かにそれぞれの物語なのだが、その4つの物語には何点かの共通点があり、4人の登場人物が各物語のいろんな所に出てくる。こんな風につながってたんだ、この時この人はこんな気持ちでこんなことをしてたんだ、と驚かされてとても面白かった。

また、この本の4人の登場人物たちは人生に悩み落ちこんでいた。しかし、それぞれがそれでも努力して新しい道を切り開こうとする。

そんな4人のつながりが出た時、この人たちは同じ時にそれぞれこんな思いで生きていたんだとわかった。それと同時に私は自分と重ねてみた。私が悩んだり考えごとをしている時、何かに一生懸命な時、私と同じように悩んだり考えごとをしたりしている人たちがたくさんいるんだなと思った。人々はそれぞれがいろんな思いを抱きながら一生懸命に生きている。そう思うと私も負けないように頑張ろうと思った。自分だけ・・・と思わないようにしよう。そして、周りの人たちにももっと興味を持とうと思った。

久しぶりの読書だったが、本っていいなと思った。本を読むと今までの自分を見つめ直すことができるし、悩みがある時はその解決の一つのキッカケともなるだろう。何かのエネルギーが沸いてくる。これからは少しずつでも本を読んでいこうと思う。

〈Graphic Report〉

:::::::::::図書館の利用統計 2004～2007:::::::::::

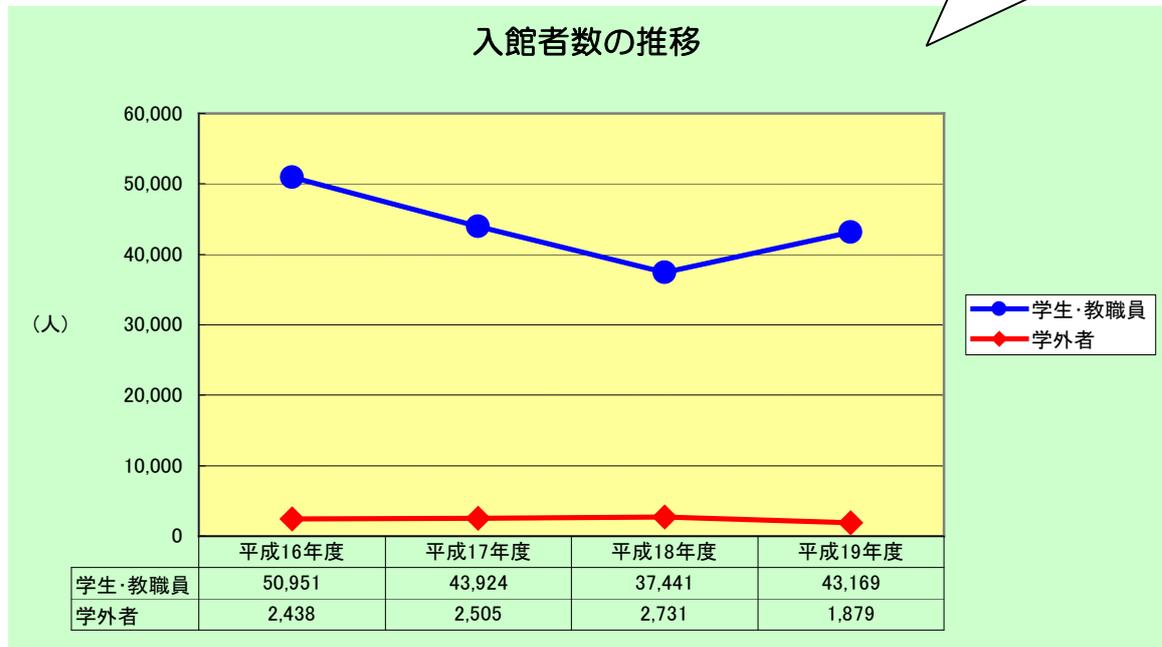
大学の完成年度にあたり、この4年間の図書館の利用状況をグラフ化しました。平成16年度に大学の1期生が入学、平成17年度に短大3学科の最後の卒業生を、平成18年度に専攻科最後の修了生を、平成19年度に大学最初の卒業生を送り出しました。

サービス対象人数・開館日数・入館者

| | 学生数 | 教職員数 | 開館日数 |
|--------|-----|------|------|
| 平成16年度 | 379 | 78 | 233 |
| 平成17年度 | 336 | 78 | 233 |
| 平成18年度 | 299 | 74 | 232 |
| 平成19年度 | 339 | 75 | 232 |

学生数の動きにつれて、平成16年度から18年度にかけては減少したが、19年度は増加に転じた。学外者は、毎年増加していたが、今年度は減少している。

入館者数の推移



図書館の利用統計 2004～2007

貸出冊数の推移



学生1人あたりの年間貸出冊数は、3.7冊前後を推移している。ちなみに、公立大学図書館の平均値は、1.9冊。(2007年日本図書館協会調べ)

文献複写依頼は、全国の大学等のほかに、病院図書室からも受け付けており、全体の20%前後を占める。本学からの依頼は、約70%が教員からのものである。

学外機関との相互利用（文献複写）



医中誌検索に Let's try!

研究に必要な雑誌文献を探すのに便利なデータベースが、図書館の「文献検索」パソコンから利用できる。今回は、そのうちのひとつ「医中誌」(医学中央雑誌)を使ってみよう。<学内専用>利用手順

- 1 医中誌WEB Ver.4に「ログイン」→検索対象年を指定して、「ADVANCED」画面へ
- 2 検索語を入力して検索→検索結果が表示される。
- 3 件数が多い場合は、「絞り込み検索」で、発行年や論文の種類などを限定
- 4 必要な文献データの印刷、ダウンロードなどを実行
- 5 <重要> 検索を終了するときには、「終了」ボタン→「ログアウト」ボタンをクリック



* 文献が収録されている雑誌が、図書館にない場合は、所蔵している図書館から有料でコピーを取り寄せることができます。詳しくは、カウンターでお尋ねください。

図書館からのお願い

館内は飲食禁止になっています。お弁当やお菓子類はもちろん、ミネラルウォーターやお茶も外のベンチで飲んでください。携帯電話はマナーモードにし、会話は外でお願いします。私語はできるだけ控えて、友達と話がしたくなったら、外で思いっきりしてきてください。

平成 19 年度図書委員

委員長：中野静子 委員：久藤克子 沖中由美 江島榮 佐々木信敬 戒田肇